

# 大本葬祭

～大本のお葬式参列のしおり～



からだま  
身体はよし果つるとも天津国の  
さかえ  
栄光の園に永久に栄えむ

## 不祝儀袋について

不祝儀袋は、白無地または黒白・銀の水引など、一般的に神式で使用されているものを選びましょう。  
表書きは「御霊前」とします。葬式で「御玉串」の表書きは使いません。  
「涙で墨がにじんでしまいました」という意味で、表書きを薄墨で書くこともあります。



## 服装について



男性はダークスーツに白シャツ、黒ネクタイ、黒靴。靴下は白か黒



女性は黒か地味な色のスーツまたはワンピース、黒靴

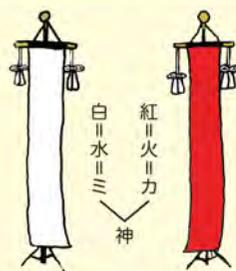
○一般会葬者は、通常礼服装または黒めの平服で。  
○和洋装を問わず、黒であっても光沢のあるものは避ける。  
※数珠は使用しません。

## 紅白の意味

Q: 大本のお葬式では、祭壇の周辺に紅白の飾りがたくさんあって驚きました。紅白といえば慶事のイメージがあります。お葬式で使うのは何か意味があるのでしょうか？

A: 大本葬祭では、旗(流旗・大流旗)や真栄木(松)の飾り紙など、紅白が多く使われています。

紅は日・火を、白は月・水を表します。火は「カ」で、水は「ミ」。火と水で「カミ」。紅白は「神」を表しており、「神さまのご守護をいただけるように」と願う意味で飾られています。



紅白の一对の旗「大流旗」

## 大本本部

綾部・梅松苑 綾部祭祀センター  
〒623-0036  
京都府綾部市本宮町1-1 梅松苑 / TEL 0773 (42) 0187

亀岡・天恩郷 亀岡宣教センター  
〒621-8686  
京都府亀岡市天恩郷 / TEL 0771 (22) 5561

東京本部 東京宣教センター  
〒110-0008  
東京都台東区池之端 2-1-44 / TEL 03 (3821) 3701

大本ホームページ <http://www.oomoto.or.jp/>



<連絡先>



みろく博士

お葬式は、それぞれの宗教や宗派によって、形式や参列の作法が異なります。大本で行うお葬式を、大本葬祭といえます。  
大本葬祭は、故人の魂を招き鎮めた霊壇(上記イラスト)を祭壇に安置し、それを中心に執り行います。大本葬祭に参列する時、どうしたらよいのか? 葬祭の流れや、お参りの仕方についてご紹介します。

### お葬式は卒業式

この世に生を受けた人は、時が来れば必ず死を迎えます。古来、多くの人が永遠の命を望みましたが、願いをかなえた人はいません。肉体の死は誰も避けられないのです。

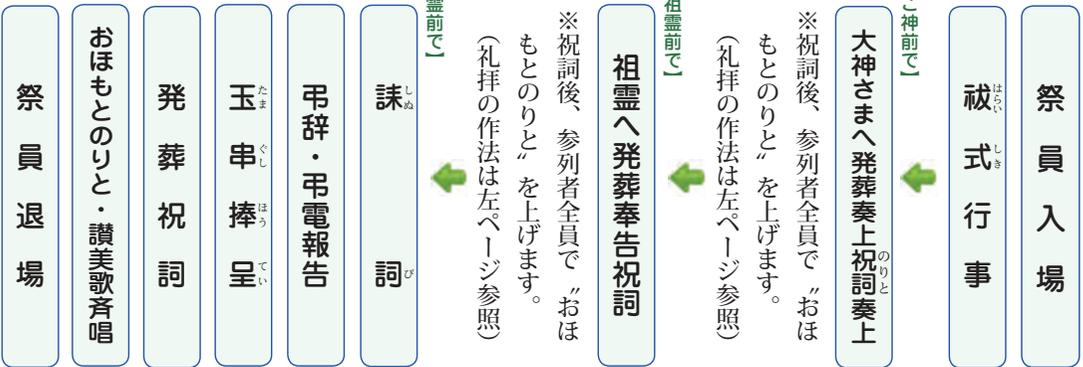
では、「死」とは何でしょうか。

大本では、人がこの世に生まれるのは、神さまの教えを実践し、魂を磨いて向上するためと説いています。魂にとって、この世は修行の場なのです。修行を終え、魂が故郷の天界に帰ることが、この世での「死」です。肉体は滅んでも、魂はこの世からあの世へと居場所を変えるだけで、永遠に生き続けます。お葬式は、人がこの世での修行をなし終えた「卒業式」ともいえるでしょう。



大本葬祭は、日本古来の神式にのっとり行われ、一般的なお葬式のお通夜にあたる「招魂式」と、告別式にあたる「発葬式」があります。今回は発葬式をご紹介します。

### 発葬式の流れ



祭員 入場

祓式 行事

大神さまへ発葬奏上祝詞奏上

※祝詞後、参列者全員で「おほもとのり」とを上げます。

（礼拝の作法は左ページ参照）

祖霊へ発葬奉告祝詞

※祝詞後、参列者全員で「おほもとのり」とを上げます。

（礼拝の作法は左ページ参照）

誄詞

弔辞・弔電報告

玉串捧呈

発葬祝詞

おほもとのりと・讚美歌斉唱

祭員 退場

簡単に説明しよう



#### 祓式行事

大麻で、祭員、参列者全員をお祓いします。



#### 大神さまへ発葬奏上祝詞奏上

故人の発葬式を執り行うことを、大神さまに奉告します。

#### 祖霊へ発葬奉告祝詞

故人の家の祖霊（先祖）にも、発葬式を執り行うことを報告します。

#### 誄詞

故人の経歴や功績をたたえて故人を偲ぶとともに、霊界（あの世）でのみ幸はいをお祈りします。

#### 玉串捧呈

垂手（白い紙）がついた松の小枝（玉串）をご霊前に供えます。斎主・遺族親族に続き、参列者ひとりひとりが行います。

※玉串捧呈の仕方は左ページ参照



#### 発葬祝詞

故人がいよいよ霊界へと旅立つにあたり、その魂のみ幸はいを祈ります。



#### おほもとのりと・讚美歌斉唱

参列者全員で「おほもとのり」とを上げ、讚美歌を斉唱します。

※霊前への礼拝の作法は左ページ参照



### 礼拝の作法

揖：軽く一礼すること



拝：深く一礼すること



#### 【大神さまへの礼拝】

1 揖、2 拝、4 拍手、1 拝、1 揖

#### 【祖霊への礼拝】

1 揖、1 拝、2 拍手、1 拝、1 揖

#### 【霊前への礼拝】

1 揖、1 拝、※2 拍手、1 拝、1 揖

※ご霊前での拍手は、故人の魂を驚かせないよう、音を出さないように静かに拍手します。

### 玉串の意味と捧呈の仕方

玉串の垂手と松には、それぞれ次のような意味があります。

松：建物の材料となる木材を表す。

「住まい」の象徴。

垂手：服の材料となる布を表す。

「衣」の象徴。

お供え物の「食」とともに、「霊界でも衣食住に恵まれますように」と祈りをこめてささげます。

※参列者代表が玉串を捧呈する時は、代表にあわせて行います。

①玉串を目の高さにささげ持つ



②祭壇の前に進み、1 揖、1 拝



③玉串の根本を祭壇に向け、左手でささげる



④1 拝、静かに2 拍手



⑤1 拝、1 揖して席に戻る

### 故人を偲ぶ 美しい言葉

発葬式では、ご霊前で「誄詞」を上げます。

誄詞では、故人がどこで生まれ、どんな生涯を送ったかという経歴や、生前の人柄や功績をほめたたえます。神さまに、「こんな素晴らしい人でした」と奉告するとともに、参列者も故人について知ることができます。

また、誄詞は故人の魂も聞いています。人にほめられるとうれしく、元気になるように、霊魂も誄詞を聞くことで力を得ます。誄詞は、故人の魂が天界（天国）へ昇る助けとなっているのです。

